

神奈川歯科大学 理事長
鹿島 勇

時流に乗って次のその先へ

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、COVID-19によって従来の常識や前例が通用しない、まさに有為転変を思い知らされた1年間でした。今年、いかなる時代が待ち受けているとも常に三歩先の潮流を嗅ぎ取り、誰も気付いていない課題を見つけ出し、いち早く私達のものにしていかねばなりません。

そこで今年の標語は、Ride on timeそして beyond the next、「時流に乗って次のその先へ」としました。

サステナビリティ

真の意味のサステナビリティとは、目先の利に執着せず5～10年後の価値を考えることそのものであり、利はそこに付いてくると言われます。すでに私達はそのことを横浜研修センター（横セ）で実証済みです。

2002年の開院時から常態化していた横セの運営赤字は、2011年までの10年間で約90億円（歯科医師の件費を除いて）に達していました。当時、本学は不正投資事件で貯蓄を使い果たし、国からの補助金も削減され存続の危機に陥っていました。当然のことながら、横セ売却の話が不動産会社や銀行関係者から頻りにありました。売却によって法人経営が楽になることは十分に分かっていました。しかし、苦しいながらもその案を理事会で審議することは一度もありませんでした。

横セを手放すことは、本学の未来を断ち切ることへと派生し、三浦半島に封じ込められた八方塞がりの医療系学校法人と化してしまうことが分かっていました。しかも、復旧に丸となっている教職員の将来の夢まで失い、改革と共に推し進める成長戦略の大義も無くしてしまいます。ただ一心に横セを守り抜くことが、まさに本学にとってのサステナビリティでした。

その後、本学は横須賀本校と横セを核として羽田そして東京へと発展を遂げていきました。13年前の経験から、私達は常に“次のその先”を予見する先見の明を持つことの大切さを学びました。

コンソーシアム・サテライト構想へ

昨年4月、本学の成長戦略の出城として羽田空港第一ターミナルビルにサテライトクリニックを開院しました。2年前の第三ターミナルと同様に緊急事態宣言の真最中でした。これで、日本の空の玄関口を本学が制覇したことになります。それに引き続き、最後の仕上げである都内でのコンソーシアム構想がゆっくりと動き始めます。時は2年後、場所は東京の玄関口となる品川高輪口、花のお江戸の日本橋、日本のシャゼリゼ通り銀座、のいずれかに照準を合わせています。それは50年間持続可能であり、日本で唯一無二の新しいコンセプトの口腔医療機関でなければなりません。

いかなる時代が来ようとも、“次のその先”を見据えた本学の成長戦略を止めることはありません。

1/fゆらぎ

人気アニメ「鬼滅の刃」で、竈門炭治郎がお館様の発する言葉のトーンに「頭がふわふわする」という場面があります。それは、相手が発する声の一定リズムと自分の生体リズムとが共鳴する現象です。このように、規則的な声音の周波数に不規則な雑音が微妙に絡むことによって心地良さを感じ、精神が安定して活力が湧く特定周波数のことを“1/fゆらぎ”と呼びます。

昨年、この考えを受験生確保のための高校訪問に応用しました。つまり、本学の説明のみに偏るのではなく、全く関係のない話題を話の途中にタイミングよく差し込んでいくことです。その結果、私達と高校側担当者との間に、一段昇華した信頼関係を築くことができました。私達の情熱の中に散りばめた人情の機微、利他の心、洒落、粋そして笑い等が1/fゆらぎとなり、互いに脳内がα波の状態対話できたからでしょう。

最近、教育の現場や各分野の運営等に、以前よりも増して様々な問題が生じていることを耳にします。時代や世代の変遷を考えない、威圧的な恐怖心で統制を企てる教育手法や組織運営では、次のその先の未来が見えるはずありません。ポストコロナの新しい時代を迎えるにあたり、厳しさの中に優しさを、緊張の中に緩やかさを、冷たさの中に温もりを感知させるバランスのとれた教育者そして組織のリーダーを目指していただきたい。

おわりに

コロナによって歴史的岐分点に立った今、本学にはダイナミックを超えた教育の破壊的革新が必要です。本学独自であり、確実に医療人としての総合力が身につく文医融合の新しい教育体系を期待しながら、理事長として13回目の新年を迎えます。

新年のご挨拶



神奈川歯科大学 学長 櫻井 孝

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発生から3年目を迎え、徐々に新しい社会秩序が確立されつつあります。この御挨拶を執筆している現在は、凄まじい猛威を振った感染症の第5波が漸く下火となった状況下にあることから、通常の授業環境へと回復するための道筋を模索しております。

今後は、今回の経験で培われたICT教育の恩恵を最大限に活用しつつ、より優れた教育を構築していくことが肝要であるものと思慮致しております。本年も関係者皆様の御支援、御協力を賜りますよう、何卒宜しく御願い申し上げます。

末筆となりましたが、本年の皆様の御健勝と御多幸を心より御祈念申し上げます。



神奈川歯科大学短期大学部 学長 石井信之

2022年が明けました。昨年10月に新型コロナ第5波が収束し、このまま感染が終息すればとの強い願いを込めました。本年も自粛の新年を迎えていると思いますが、明るい光が差し込むことを心より願っています。コロナ感染拡大による緊急事態宣言は、人類の活動が引き起こす社会の歪みや自然破壊をあぶりだしました。弱者を切り捨てる社会や自然破壊による異常気象は、喘ぐ地球からのSOSです。人類は機械文明の発展を基準とし、自然環境や隣人への思いやりを忘れた社会へと暴走してきました。医療人を育成する本学教職員は、繰り返された人類の負の歴史を直視し、弱者に手を差し伸べる社会に変えなければなりません。本年が皆様にとって明るい展望が開ける年となりますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。



神奈川歯科大学附属病院 病院長 井野 智

昨年5月に始まった旧附属病院の解体は、約6ヶ月をかけて、カニバサミのような大型重機でバリバリと切り刻みながら進められ、更地となりました。とかく敬遠されがちですが、始末をすることはとても重要な仕事で、歯科治療と似たところがあります。平成元年に補綴歯科医となった私の最近の臨床は、長らく通ってくださる患者さんの口の中の始末をすることが多くなりました。患者さんの口の中は、まさに私の通知表であり、自分の未熟さ・無力さを痛感することも少なくありません。それでも、人生100年時代を健康・健口に生きていただくために、地域のみなさんに寄り添えるよう、努力したいと思っております。今年も附属病院へのご鞭撻をお願いします。



東京歯科衛生専門学校 校長 佐々木ひろみ

昨年は、コロナ禍の中で新たな形の教育を模索し続けた年でした。「変えるべきものを変える勇気、そして変えてはいけないものを判断する洞察力」が求められていると感じています。医療人として信頼される人材となるよう学生たちを成長させる教育は、今までもそしてこれからも変わりません。常に学生を中心に置き、今なすべき事、必要な事を考えた教育、そして学生一人一人の地道な努力の過程を認める教育を貫いていきます。今年の干支は寅です。この干支には「生まれたものが成長する事」といった意味もあるようです。学生の大きい可能性を信じ成長に結びつけていきたいと思っております。本年も本校の教育にご理解、ご支援をよろしく願っています。



神奈川歯科大学同窓会 会長 大館 満

年頭所感

昨年9月から新型コロナウイルスの感染者が激減し、多くの人がコロナ禍の終焉を期待しています。一昨年5月から同窓会で「口腔ケアで新型コロナウイルス感染予防、重症化防止支援プロジェクト」を推進してまいりました。口腔ケアの有効性について歯科関連議員にお願いして国会質問をしていただき、首相はじめ担当大臣にも認知されたもののマスコミ等には反映できませんでした。しかし、草の根的に広がり各所から評価をいただいております。いまだに歯科医院でのクラスターの報告はなく改めて歯科界を誇りに思っております。今年こそはコロナウイルスのない世界の実現と皆様のご健勝を祈念しております。

あけましておめでとうございます



神奈川歯科大学 副学長・大学院研究科長 榎木恵一

新年あけましておめでとうございます。

寅年の世相は波乱が多いと言われていたようです。しかし、波乱に強いのが神奈川歯科大学ではないでしょうか。もちろん波乱は無い方が良いですが、改革の契機となるものが多く、イノベーションできるチャンスでもあるので、負だけをもたらすわけではありません。特に、少子化という波乱が、既に隣にきています。波乱に備えて教育の充実は不可欠ですが、研究で新しい世の中に役立つシーズを作り出すことも重要ではないかと考えています。近大マクロは、その成功例と言えるでしょう。大学院では、教員の研究を支援する体制の充実を進めていきます。そして、若い先生方の新しい発想から、神奈川歯科大学をさらに強化していきましょう。



神奈川歯科大学附属横浜クリニック 院長 兎玉利朗

新年明けましておめでとうございます。日頃より横浜クリニックの運営にご尽力いただき感謝しております。昨年はCOVID-19感染症に翻弄された1年ではございましたが、ようやく終息の兆しが見えてまいりました。これまで当クリニックでは、徹底した院内感染防止対策により、クラスターの発生や職員の感染もなく、患者様に安心・安全な医療環境を提供してまいりました。令和4年は、さらなる飛躍の年とすべく、専門外来等（難治性腹痛・便秘異常外来、デジタルデンティストリーの推進、訪問歯科診療）の充実をはじめ、社会情勢に応じたクリニックの診療体制の構築を実施するとともに、地域医療に貢献すべくスタッフ一同邁進いたす所存でございます。今後ともご指導の程よろしく御願い申し上げます。



法人事務局長 菅原光則

「受け入れ、受け止め、受け流す」

新型コロナウイルス感染症により、事実や理由をことさら追い求めた結果、不確実、曖昧、懐疑の中、正しいと見える答えが見つからず、進むべき道がわからないと誰でもが不安になります。19世紀の英国詩人ジョン・キーツは、過剰に怯えることなく、過剰に反応しすぎることなく、その状況をそのまま受け止める能力を“Negative capability”と記した。今を生きる人にとってはいつの時代も混んとしているもの。今年もこのあやふやな宙ぶらりんな状況に耐えながら、次のその先を見据え、流をつかみ取り、受け入れ、受け止め、受け流す、その勇気をもって、様々な変化に対応しながら、2022年を未来から見た成功体験にするために、皆様と共に歩みたいと思っております。



神奈川歯科大学短期大学部同窓会 会長 名取すみ子

明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスに振り回され、会議は慣れないオンラインでの開催。緊急事態宣言解除明けには小規模でしたがクラス委員会を皆様方のおかげで開催する事が出来ほっと致しました。若い同窓会役員が計画した事業も今年こそは実行に移したいと思っております。

未曾有の危機でしたが大事なことに改めて気づかされました。それはコミュニケーションの大切さです。オンライン会議では情報は伝わりますがそれだけでは個々の微妙なニュアンスはなかなかわかりづらいのも事実です。早くお顔を拝見しながら本来の同窓会活動が戻り、大学、短期大学部、同窓会と絆を深め、更なる飛躍の年になりますよう祈念致します。

旧附属病院解体と新本部棟の概要

旧附属病院は2021年10月末にその建物の姿を消し、隣接する第1研究棟が見える風景となりました。今後は現附属病院駐車場として2022年3月までに整備される予定です。

新本部棟はオフィスエリアと学習エリアに分けられます。地上4階建て、オフィスエリア2677.65㎡、学習エリア907.43㎡となり、総床面積が4152.37㎡の建物になります。各階の構成については次の通りとなる予定です。

- 1階：教学部門事務エリア773.85㎡、学習エリア（ライブラリーエリア）907.43㎡
- 2階：法人部門事務エリア762.6㎡、多目的ホール（通常使用時150名収容）250.80㎡
（その他、同窓会・学会事務局が入室する予定です）
- 3階：役員エリア570.6㎡
- 4階：会議室エリア570.6㎡



なお、新本部棟は2022年5月下旬頃をめどに着工が予定されております。

第二の新ビジネスプロジェクト始動



総合歯学教育講座 教授
板宮 朋基

永続的な法人の繁栄を目的に、学納金及び医療収入に加え「第三の収入」を確立する事を目的に、理事会直轄のビジネスプロジェクトが発足したことを前号でお伝えいたしました。

槻木恵一教授による「唾液科学研究所」に続き、第二のプロジェクトとして、板宮朋基教授を中心とした「XR研究所」が設立されました。

XRとは、VR（バーチャルリアリティ）とAR（拡張現実）を統合した呼称です。既にその技術を活用した、歯科医療の教育と臨床、横浜市との防災アプリの開発、ソニー空間再現ディスプレイ用ソフトウェアの商品化、その他、複数の企業様とのコラボも実現し、本学におけるDX推進と地域貢献にも大いに寄与しており、まさに「THE・未来」を体現しています。

高い専門性を有しアカデミズムを創造させ、その魅力を内外に大きく示すことで、収益と共に他大学との差別化と大学の価値向上へ寄与するものと確信しております。

同プロジェクトからは、本学の強みを最大限に活かした、更に新たなビジネスモデルが産声を上げます！

RB 白浜館 誕生！

前号でお伝えしました、通称「赤レンガ倉庫」のリニューアルですが、この度、横須賀市と推進する「高齢者アミューズメントパーク」の象徴として、また、歴史的に大変貴重な建造物である赤レンガ倉庫を新たな観光の拠点となる「イベントスペース」として改装しました。

同時に、名称を一般公募し、予想をはるかに超える応募の中から、英語のRedと仏語のBrique（レンガの意味）、また、海軍機関学校時代、この一帯が「白浜」と呼ばれていた事からこの二つのワードを組み合わせ「RB 白浜館」と命名致しました。

去る11月12日（金）、上地克明横須賀市長らにご参列賜り、



開所式を執り行いました。

高齢化が進む横須賀市の健康長寿に大きな貢献が期待できる事、口腔と認知症の密接な関係の啓発活動、また、ジャカランダに並ぶ本学の新たなシンボルとしての期待が語られました。

なお、本格的な稼働は年明けとなりますが、まずはイベントスペースとして広く活用して参ります。

学校法人鹿島学園との教育提携に関する協定を締結

2021年11月9日（火）、アフターコロナ時代に先駆け、双方が所有するそれぞれの強みを活かして交流を活性化し、同時に新たな学校教育の方向性を模索する未来への一歩とすべく、両校は教育提携の協定を締結致しました。

この提携により生み出される様々な連携と未来を担う秀逸な人材の輩出は、双方にとって、また、地域社会にとっても大きな貢献になることと思っております。



附属病院だより

第26回指導歯科医講習会

2021年11月6日(土)、7日(日)の2日間にわたり、神奈川県立歯科大学附属病院7階フロアにおいて、第26回歯科医師臨床研修指導歯科医講習会(神奈川県立歯科大学FDワークショップ)が開催されました。昨年は新型コロナウイルスの感染状況を鑑み開催中止としましたので、2年ぶりの開催となりました。今回は外部タスクフォースとして東京医科歯科大学の新田浩教授をお迎えし、受講者は24名でした。

ワークショップ形式の講習会に初めて出席する方が多く、時間に追われてのプロダクト作成に最初は戸惑っていた受講者の方々も、時間の経過とともにグループワークに慣れ活発な討論が行われるようになりました。最後に病院長より修了証書が授与され、有意義な2日間の全課程を終了しました。



クリニックだより

神奈川県立歯科大学附属横浜クリニックでは、2020年11月末より歯科訪問診療を開始して、1年がたちます。当初より神奈川県立歯科大学附属横浜クリニックに通院されていた患者さんやそのご家族、当院のある神奈川県にお住まいの方、神奈川県歯科医師会よりご紹介の方で、訪問歯科診療をご希望の方に歯科医療の提供を目的として始めました。徐々にではありますが、皆様に周知され、ケアマネージャーや支援員よりご紹介をいただくことも増えてまいりました。訪問歯科診療は、ご希望の方のご自宅にうか

が、患者さんご本人の日々の暮らしや自らのお身体に対する考え方などをできる限り尊重し、より良い歯科医療の提供を目指して歯科医師と歯科衛生士が相談しながら行っています。またそのご家族や見守る方々に、頼んで良かったとご満足いただけるように努力しています。患者さんを取り巻く全てのものが連携して生活を続けられるように我々もその一部となり励んでいます。今後もさらにより良い医療を提供し、信頼をいただけるように努力いたします。



羽田だより

第1ターミナル

オリンピック、パラリンピック期間中は空港内のトイレ正面壁画が模様替えをしており、目を引く赤や青のオリンピック広告を前に写真を撮る方がたくさんいらっしゃいました。



ようやく緊急事態宣言が解除され、フライトの便数も8割程度までに回復してきたそうです。

当院には空港ならではの、様々な急患の患者様が来院されます。フライト前後は、補綴物の脱離や歯・歯肉の疼痛を主訴に来院されることが多いですが、海外赴任される空港職員の方からご旅行中の歯科医の先生まで、全国からお見えになる患者様

との一期一会が楽しいです。皆様のフライト時間に合わせて時間に追われることもありますが、真摯に対応させていただいております。

第3ターミナル

お陰さまで2回目の正月を迎えました。当院では海外駐在・海外永住の方々の受診が一定数見られます。しかし、入国後待機を勘案すると治療に割ける時間はせいぜい数日。南米やアフリカに戻られる方々から最寄りの歯医者まで2時間かかるという冗談のような話をうかがうと、さらにプレッシャーが高まります。多くの場合、次の一時帰国は3年後です。その時にまた寄っていただけるように、今年も一期一会の心持ちで診療に当たる所存です。



TDHだより

TDH 2022年4月入学生

2022年4月入学生の学生募集活動は11月上旬に終了となりました。

今年度のTDHは地下の相互実習室の歯科ユニットを一新！ホームページをイマドキに！

高校への訪問や進路相談会に積極的に参加し、より生徒さん

に寄り添った広報活動を続けてきました。2023年の学生募集はすでに始まっています。高校1・2年生から歯科衛生士の魅力、TDHの雰囲気をより多くの生徒さんに伝え、即戦力になる歯科衛生士の養成に引き続き力を入れて参ります。



四季を感じる庭園

新型コロナワクチンの職域接種が無事終了しました

2021年8月10日(火)～10月1日(金)の内の19日間、本学横須賀キャンパスにて横須賀市近隣の私立高等学校の教職

員の方(約290人)及び本法人の学生(約520人)等を対象とした新型コロナワクチン(モデルナ製)の職域接種が実施されました。運営スタッフとしてワクチン接種の研修を受けた歯学部歯科医師や短期大学の教員及び事務職員等が担当し、無事終了いたしました。

歯科診療支援学講座クリニカル・バイオマテリアル学分野三つの受賞

第39回日本接着歯学会学術大会（2020年10月3日（土）、4日（日）にWeb開催）で二瓶智太郎教授が「疎水性基を有するシランカップリング剤の効果—試作コンポジットレジン耐摩耗性について—」という演題で発表優秀賞を受賞されました。また、2020年度日本歯科理工学会学術賞に大橋桂准教授が受賞（2021年4月10日（土））、さらに、第77回日本歯科理工学会学術講演会にて和田悠希特任講師が「コーティング処理後のレジンセメントの象牙質接着性—セメントの違いによる接着強さへの影響—」という演題で企業賞を受賞（2021年4月10日（土））されました。

クリニカル・バイオマテリアル学分野では、昨年度に続き専門学術学会からの受賞が合わせて五つとなりました。2021年度より基礎系から臨床科学系となり、さらに臨床に必要な新たな歯科生体材料及機器の開発に繋がる研究を進めるクリニカル・バイオマテリアル分野の一層の活躍を期待したいと思います。



二瓶教授



大橋准教授



和田特任講師

「令和3年度 神奈川県警察協力 歯科医研修会」開催される

毎年、法医学講座では神奈川県歯科医師会主催の神奈川県警察協力歯科医研修会に指導協力しています。今年度は県警より新規嘱託された警察協力歯科医42名が参加しました。事前収録した講義を各自視聴後、2021年10月24日（日）、本学にて実習を行いました。

実習室では生前・死後の事例ファイルからデンタルチャートの作成・照合判定、遺体様マネキンを用いて口腔内写真やX



線撮影そして鑑定書作成を行いました。解剖室では3体の身元不明遺体の歯科所見採取を行いました。有事の際は即戦力として活躍されることを期待しています。

訪問看護 ST 設置

2021年10月1日（金）に神奈川歯科大学内の5号館2階に一般社団法人空と花 在宅看護センター横須賀がオープン致しました。

一般社団法人空と花の本部は東京都荒川区にあります。2016年に訪問看護リハビリステーションを立ち上げ、2020年には居宅介護支援事業所も立ち上げました。本学に訪問看護ステーションを立ち上げたのは、社会を変えられるのは看護師、つま

り地域に密着できる私達訪問看護師の力を今こそ発揮すべきだと考えたからです。

横須賀市にお住いの皆様へ「生きる力を引き出す」ケアを提供したいと考え、大学教職員の多大なる協力のもと、今日に至っております。口腔とリンクした歯科大学内の訪問看護ステーションという、新しい価値を樹立したいと思います。

大学と連携・協働しながら、地域貢献に勤しみたいと考えております。

貴乃花特任教授特別講義

2021年11月17日（水）特任教授の貴乃花氏に、1年生の「健康とスポーツ」の授業を担当していただきました。

講義はオンライン形式でしたが、スライドだけでなく実技を交えての臨場感ある講義となりました。

講義の内容は、「アスリートの歯科基礎医学」をテーマに、以下の項目で進められました。

- 1) 現役の時に感じた歯の大切さ
- 2) 相撲の取り組みにおける足指の大切さ
- 3) 丹田（たんでん）と四股、および呼吸法
- 4) 相撲道と土俵の心
- 5) 怪我からの復帰と精神力

6) 相撲道と日本の心

特に相撲の勝負においては、身体を中心、いわゆる身体の軸が非常に大切であると述べられました。身体の軸を整えるためには、かみ合わせの調整が重要であることを実感したことが、神奈川歯科大学の特任教授を受けるきっかけとなったそうです。

授業の中盤には、貴乃花氏自ら四股を実演し、学生が自宅でも実践できるよう、わかりやすく解説していただきました。

忙しいスケジュールの合間を縫っての講義でしたが、大変充実した内容で有意義な時間となりました。



大学院だより

歯内療法学分野 大学院1年生 王珽萱

私は2014年に台北市私立薇閣高校から神奈川歯科大学に台湾留学生2期生として入学しました。卒業後に本学臨床研修を終えて歯内療法学分野大学院生として現在にいらっています。

私達台湾留学生にとって、神奈川歯科大学で過ごした6年間は歯科医学知識を学ぶだけでなく日本文化に触れて視野を広げる貴重な経験となり、国際的に活躍できる貴重な機会を頂くこととなりました。本年で来日10年目という節目の年を迎えます。来日当時の日本語能力は極めて危ういもので、日常会話も殆ど話すことができない状態でした。当然、大学の講義内容を理解することも困難で、すべてがチンプンカンプンでした。6年間の学生生活で日本人の友人も多く出来、友人の支えと励ましで卒業することができました。現在は、日常会話に支障は無く附属病院の診療も可能になっています。

私の大学院生活について紹介します。現在、月火水の午前中は附属病院マイクロスコープ診療科で指導教授の診療介助を行い、月火水の午後および木金の午前中は患者診療を行っています。私の所属するマイクロスコープ診療科は、基本的に歯内療法を中心に診療するため、毎日が感染根管治療の連続です。私が在籍した薇閣高校は英語と日本語教育を受講することが可能だったので、現在は3か国語を駆使して患者診療に従事しています。したがって、担当する患者は米海軍横須賀基地からの外国人が多いです。

図書館だより

第1回卒業生より貴重書をご寄贈いただきました

第1回卒業生の三宅一實先生より、戦前から戦後にかけての貴重な書籍を42冊ご寄贈いただきました。

ご寄贈いただいた書籍は三宅先生のお父上が残されたものだそうです。三宅先生にお話を伺ったところ、お父上は歯苑社および医歯薬出版の創立者である今田見信氏の実弟にあたり、学生時代に出版の手伝いをしていたため、当時の出版事情を慮ると処分しきれず、ずっと保管していたのではないかとのことでした。

お父上は日本大学歯科のご卒業で、当時の教科書と思われるものも数冊含まれていましたが、その中の1冊、「歯科病理学講義要綱（都築正男述、昭和五年三月稿）」には、「本篇ハ東京女子歯科醫學専門學校學生用トシテ編纂セシモノニシテ…」との記載がありました。本学の前身である東京女子歯科医学専門学校の講義用資料をお父上がどのような経緯で入手されたのか、非常に興味をかきたてられます。

その他にも、本学初代学長 檜垣麟三先生の著書「口腔治療学上編」（歯苑社、1948年）、本学初代口腔外科教授 布施貞夫先生の著書「歯科顎口腔科のペニシリン療法」（歯苑社、1949年）など、本学にゆかりのある書籍をご寄贈いただいております。

今回ご寄贈いただいた貴重書は、2022年2月1日（火）から3月30日（水）まで図書館で展示しますので、ご興味のある方はぜひご来館ください。



大学院生を対象とした教育では水曜日に研究室のセミナーを受講し、木曜日は大学院講義を受講しています。歯内療法学分野の研究領域は、臨床研究と基礎研究（歯髄炎、根尖周組織炎）に大別されていますが、私は主に基礎研究に興味を持ち細胞培養と分子生物学的解析を学び、セメント芽細胞の石灰化シグナル解析を中心に研究を開始しました。細胞培養を始めたころは、細胞から目を離すと、暴れたり元気がなくなったりして実験結果がばらつくため、毎日毎日、細胞の様子を観察していました。実験の無い休みの時間は研究関連論文に目を通して見ます。大学院生活は、臨床と研究で忙しいですが、とても充実しています。



卒業後の進路について悩みましたが、日本の歯科医師免許と学位（PhD）を持つことで世界中の研究機関への就職が可能になるとの助言を学生時代からお世話になっている石井教授から聞き、大学院に入学することを決めました。現在、素晴らしい指導教員や環境に囲まれ、充実した大学院生活を送っています。今後も明確な目標に向かって、臨床と研究に没頭したいと思っています。

高校卒業以来、日本で多くの人に出会い、歯科医師として診療業務に携わり、大学院生として様々な研究の話題に触れられて、やっぱり世界は広いと感じています。将来は国際的に活躍したいという希望がさらに強くなりました。

また、雑誌につきましても歯界展望の欠号部分の一部をご寄贈いただきました。現在再製本中ですが、2月頃には3階雑誌コーナーに並べられる予定です。

（寄贈貴重書）

請求記号	書誌事項
D.04 I	W. C. イーストレキ先生傳：我國泰西齒科學の父／今田見信著。一歯苑社、1937.
D.07 N	歯科獨英醫文和譯研究／長尾優、沖野節三共著。一金原商店、1928.
D.15 F	歯科顎口腔科のペニシリン療法／布施貞夫著。一歯苑社、1949.
D.16 T	歯科病理学講義要綱／都築正男述。一[出版者不明]、[1930].
D.3 H-1	口腔治療学／檜垣麟三著；上編。一歯苑社、1948.
D.3 T	歯科臨床講義集／東洋歯科月報社編輯。一東洋歯科月報社、1921.
D.31 K	實習歯科診断学／熊谷眞著。一文光堂書店、1923.
D.8 K	口腔衛生十二講／川上爲次郎著。一歯苑社、1925.

他、計42冊

横須賀市民体育大会 ボウリング競技

2021年12月5日（日）第94回横須賀市民体育大会ボウリング競技が市内ボウリング場で開催されました。本学4年生李秉倫（台湾）君が準優勝、大橋桂准教授が第3位でした。



教学部だより

歯学部

2年ぶりの1年生クラス会

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着く中、2021年10月29日（金）放課後、2年ぶりに1年生クラス会を開催しました。感染対策を徹底するために例年とは少し趣向を変え、体育館でウィズコロナのクラス会となりました。

体育館に集まった学生たち全員が準備された着ぐるみに着替え、川上正人准教授が企画した感染対策に基づくグループゲームやジャンケン大会で盛り上がりを見せました。昨年からさまざまな我慢を強いられてきた学生たちの顔には笑顔があふれ、久々に活気ある大学を感じるひと時でした。



短期大学部

2021年度 戴帽式

2021年9月11日（土）戴帽式が挙行されました。本年度も感染予防のため規模を縮小、短時間で安全を考慮して開催しました。臨床実習開始に先立ち、歯科衛生学科2年生・看護学科1年生が戴帽の儀を行い、医療従事者としての自覚と責任をもち、知識・技術の向上に努め初心を忘れず、希望を持って臨床実習に取り組むことを誓いました。



神奈川歯科大学歯学部学生会

神奈川歯科大学歯学部学生会です。学生会は本学歯学部生全員が加入している学生自治団体です。現在役員は1年生から5年生までの9名で活動しています。

学生会の会務は学生の過ごしやすい大学生活の実現です。直近の活動としては図書館に教科書・参考書を約300冊、Covid-19対策としてブッククリーナーを2台寄贈させていただきました。既に多くの方がレポートの作成や自学自習のために利用しており大変ご好評をいただいています。また部活動の統括、援助も学生会の仕事の一つです。現在新型コロナウイルスの感染拡大により部活動が2年近くできていない状況です。しかしながら部活動を存続させるべく非対面での部活動の勧誘を実施しました。現在、新入生の約4割の方に部活動に入学していただいています。まだ部活動に入学されていないみなさんも興味のある部活動があればお近くの学生会役員まで是非ご相談ください！

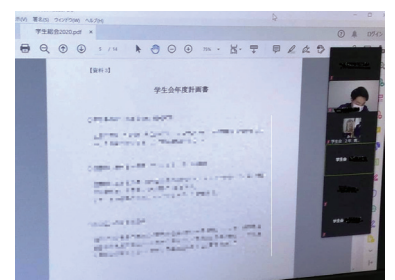
稲岡祭開催の際には短期大学部学生会と稲岡祭実行委員会を組織して稲岡祭の企画・運営を行っています。稲岡祭は地域と大学との架け橋ともなるイベントです。従来での形での開催は難しいですが、実行委員会ではオンラインも含めた新しい稲岡祭のあり方を模索し開催に向けて取り組んでいます。是非次回

の稲岡祭を楽しみにお待ちしております！

さて近年、社会は急速にデジタル化しました。学生会でも学生会室にPCを設置したりデジタルデータでも問題ない資料はデータ化したりなど、よりスマートな会務執行に取り組んでいます。皆様の意見がより会務執行に反映されるようなシステム作りも進めています。学生会の適切な会務執行には学生の皆さんの協力が欠かせません。毎年5月には学生会の最高議決機関である学生会総会が行われます。総会での議決権は全学生会員が持つ権利です。総会の際にはご参加をよろしくお願いいたします。




最後になりますが学生会の活動には学生の皆さんをはじめ保護者の皆様、教職員の皆様のご理解とご協力が必要です。今後とも学生会活動に温かいご支援を賜りますようお願いいたします。


神奈川歯科大学歯学部学生会 会長 3年 青柳 雅也



オンライン個別相談会

入試について、学校について、
なんでもご相談ください！
平日 9:00 ~ 17:00

 Zoomでも  お電話でも  メールでも

お申し込みは
こちらから→ 

神奈川県立歯科大学動画コンテンツ
dentarium

▶ 歯学の世界を覗いてみよう！



 dentarium
ようこそ！歯学の世界へ



入試日程

- 一般選抜**
- 1期 2022年1月29日(土)・30日(日) 出願期間 2022年1月6日(木)～20日(木)
 - 2期 2022年2月13日(日) 出願期間 2022年1月20日(木)～2月8日(火)
 - 3期 2022年3月6日(日) 出願期間 2022年2月9日(水)～3月1日(火)
- 卒業生推薦 3期** 2022年3月21日(月) 出願期間 2022年3月2日(水)～3月16日(水)

入学サポート制度！
一般選抜1期受験者のうち
成績上位 1位～25位には
学費減免が適用されます！！

一般1期成績順位	対象者人数	減免額	初年次納入金	入学手続時	後期(10月)	6年間総額比較
1～3位	3名	395万	なし	なし	なし	2,305万
4～8位	5名	200万	195万	127.5万	67.5万	2,500万
9～25位	17名	100万	295万	177.5万	117.5万	2,600万
通常の入学者	—	なし	395万	227.5万	167.5万	2,700万



神奈川県立歯科大学 歯学部 歯学科 入試広報係 ☎ 046-822-9580

【2022年度 入学試験実施一覧】

歯学部

歯学科 定員：115名 男女		
試験区分	試験日	合格発表
一般選抜1期(1日目) 大学入学共通テスト利用1期(1日目)	1月29日(土)	一般選抜1期 2月4日(金)
一般選抜1期(2日目) 大学入学共通テスト利用1期(2日目)	1月30日(日)	大学入学共通テスト利用1期 2月14日(月)
一般選抜2期、大学入学共通テスト利用2期	2月13日(日)	2月18日(金)
一般選抜3期、大学入学共通テスト利用3期	3月6日(日)	3月9日(水)
特別入試、卒業生推薦3期、編入学3期	3月21日(月)	3月23日(水)

※詳細はホームページをご覧ください

短期大学部

歯科衛生学科 定員：120名 男女		
試験区分	試験日	合格発表
一般、特待生、社会人選抜2期	2月1日(火)	2月7日(月)
総合型選抜4期	3月6日(日)	3月9日(水)
総合型選抜5期	3月16日(水)	3月17日(木)

看護学科 定員：80名 男女		
試験区分	試験日	合格発表
一般、特待生、社会人選抜2期	2月1日(火)	2月7日(月)
総合型選抜4期	3月6日(日)	3月9日(水)
総合型選抜5期	3月16日(水)	3月17日(木)

※詳細はホームページをご覧ください



大学院

歯学研究科 定員：18名 男女		
試験区分	試験日	合格発表
Ⅱ期、学内推薦選抜、一般選抜、社会人特別選抜、特待生選抜、外国人留学生選抜	2月16日(水)	3月2日(水) 午後2時 HP上

※詳細はホームページをご覧ください

【2022年度 入学説明会一覧】

大学院

説明会場	日程	時間
神奈川県立歯科大学 本部棟 5階会議室	1月13日(木)	午後6時から

※詳細はホームページをご覧ください